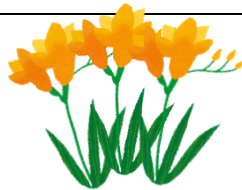




学校だより

令和 2年度第20号
学校評価特別号
令和3年 2月10日
府中市立南町小学校
校長 島田 文江

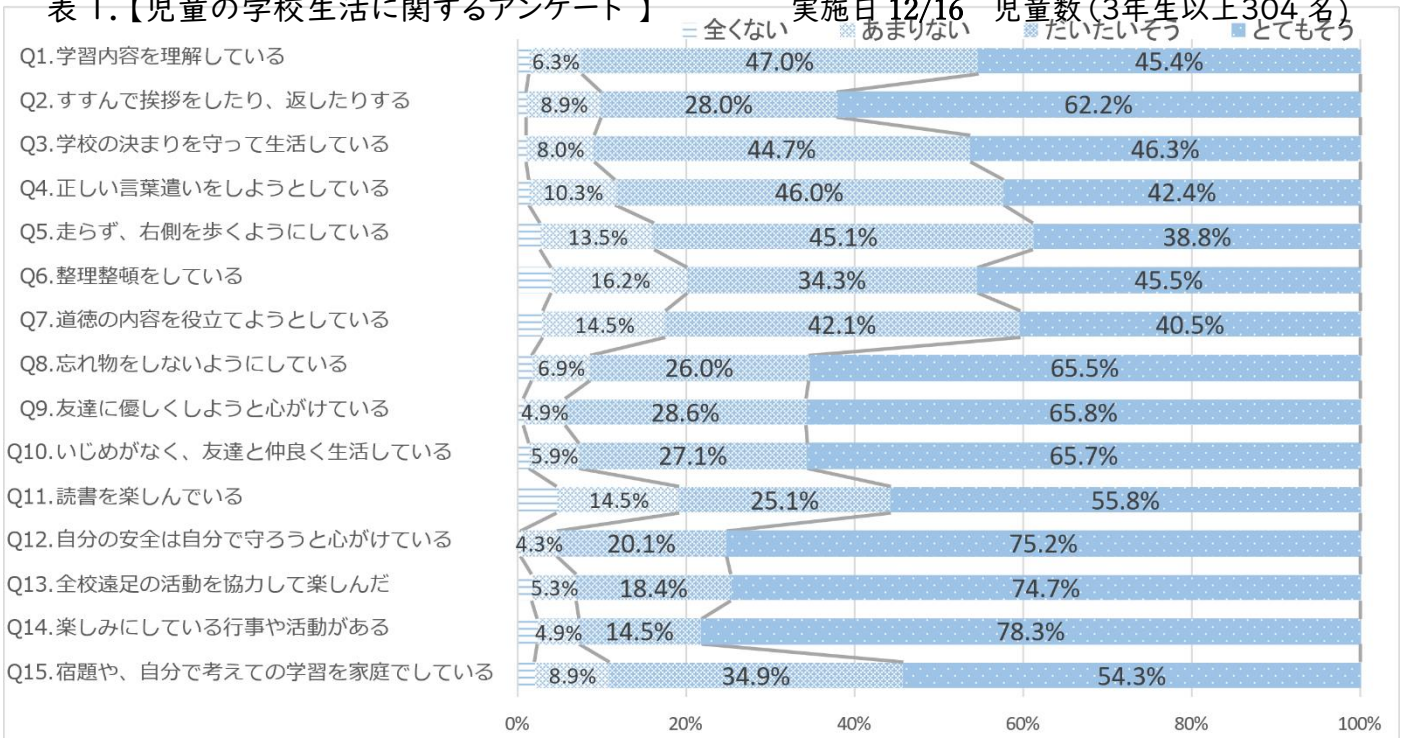


令和2年度の学校評価アンケート

校長 島田文江

例年なら前期・後期と2回実施する学校評価ですが、学校再開の時期の関係で、今年度は12月の1回のみいたしました。3年生以上の児童、保護者(家庭数)、スクールコミュニティ委員(外部評価者)のアンケート結果をご報告します。次年度の学校経営に活かす予定です。また、すぐに改善できるものは3学期から実施していきます。

表1.【児童の学校生活に関するアンケート】 実施日 12/16 児童数(3年生以上304名)

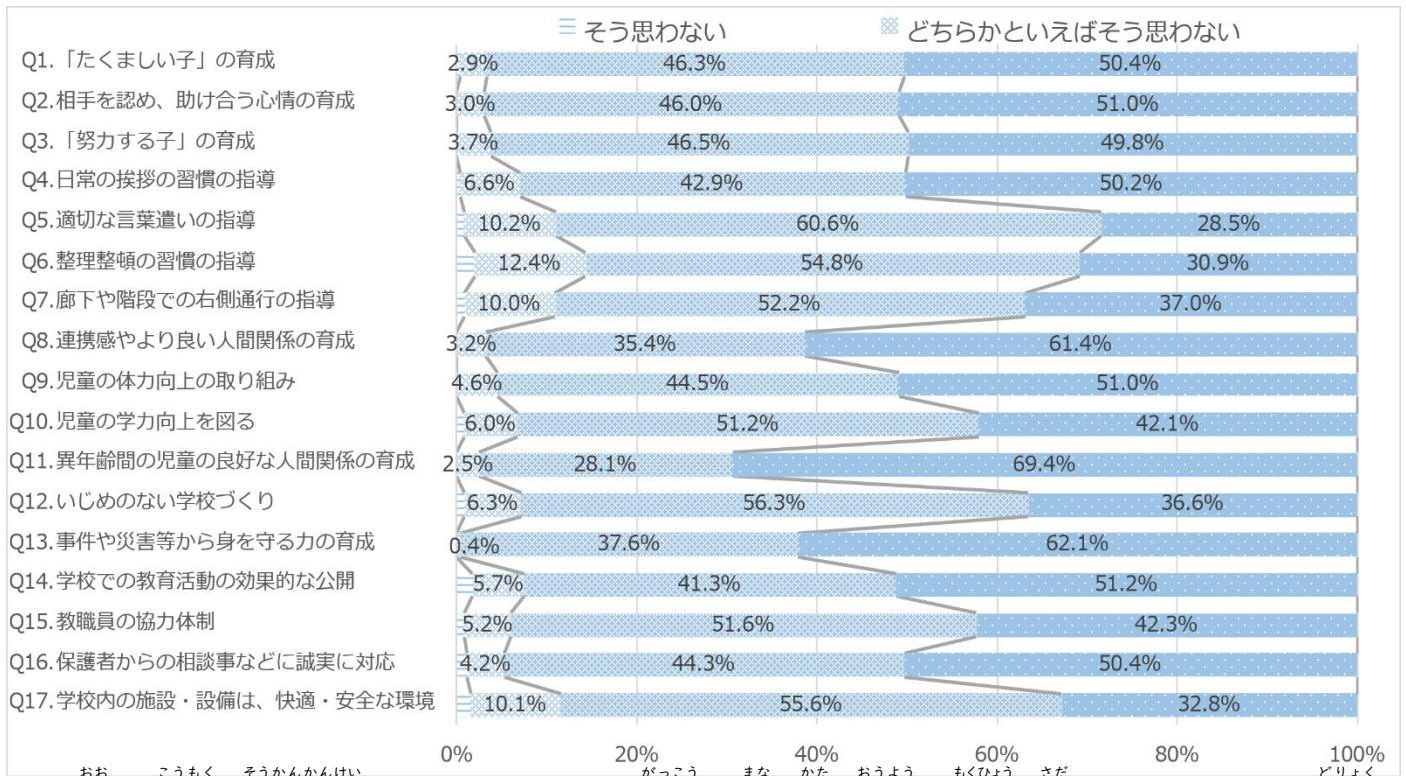


いちばん多くの項目に影響していたのは、Q9.「友達に優しくしようと心がけている」です。ここで、「優しくしています」と回答した児童の多くが、Q3.「学校の決まりを守る」Q4.「正しい言葉遣いをする」Q7.「道徳の時間の学びを役立てる」Q8.「学校で必要なものを忘れない」Q10.「いじめや仲間外れがなく生活する」Q12.「自分の安全は自分で守る」Q15.「宿題や自分で考えた学習する」の7つの項目でも「とてもそう」「だいたいそう」と、肯定的に回答していました。以上から、学校教育目標の「思いやりのある子」は、友達と仲よく安全に生活するためにできる具体的な実践の先にあることを知りました。

その他、5「廊下や階段を走らず右側を歩く」と、3「学校のきまりを守って生活している」に関連がありました。校内で過ごす数時間で右側を歩いている児童は、他のたくさんの決まりも守ろうとしていることが分かりました。また、12「自分の安全は自分で守ろうと心がけている」と13「全校遠足前の遊びを楽しみ、全校遠足当日の活動を協力して楽しんだ」14「学校には楽しみにしている行事や活動がある」にも関連がありました。コロナ感染予防対策をとりながら工夫して行事を楽しみたいという高学年の強い気持ちが伝わりました。実際に全項目を学年別に集計したところ、学年が上がるにつれて「とてもそう」「だいたいそう」と答える児童の割合が増えていました。長い時間をかけてすこすこ自立・自律できるようになっている南町小学校の児童の姿が見えました。

次年度は、あせらず丁寧に時間をかけて、一番優しい学校を目指すために、具体策を示していこうと思います。

表2.【保護者等の学校評価アンケート】 実施12月 庭数数+スクールコミュニティ委員(285名)



一番多くの項目に相関関係がみられた項目は、3「学校は、学び方を応用し、目標を定めてチャレンジする『努力する子』を育てている」でした。この項目3で、肯定的に回答された保護者等の多くが、1「学校は、教育活動を通して、生き生きと学び体を鍛え、健やかに成長する『たくましい子』を育てている」2「学校は、日常の授業や生活指導を通して、児童の相手を認め助け合おうとする『思いやりのある子』の心情を育てている」4「学校は児童に日常的な挨拶の習慣を付けている」の3つの項目でも、同様に肯定的に回答されました。

以上より、3つの教育目標『たくましい子』『おもいやりのある子』『努力する子』に一定の評価をいただけたことを知りました。例年にはないコロナ感染予防の制限がある中で、本校の教職員が途中で諦めずに工夫したことが高評価の理由の一つではないかと思えます。地域や保護者の皆様のご理解とご支援がなかったらこの数字は保てなかったはずです。改めてお礼申し上げます。

一番高い相関がみられたのは、15「教職員の協力体制がとれていて、学校全体で児童の指導にあたっている」と、12「学校はいじめの未然防止、早期解決に適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」および、16「教職員は保護者からの相談事などに誠実に対応し、保護者と協力して児童を指導している」でした。

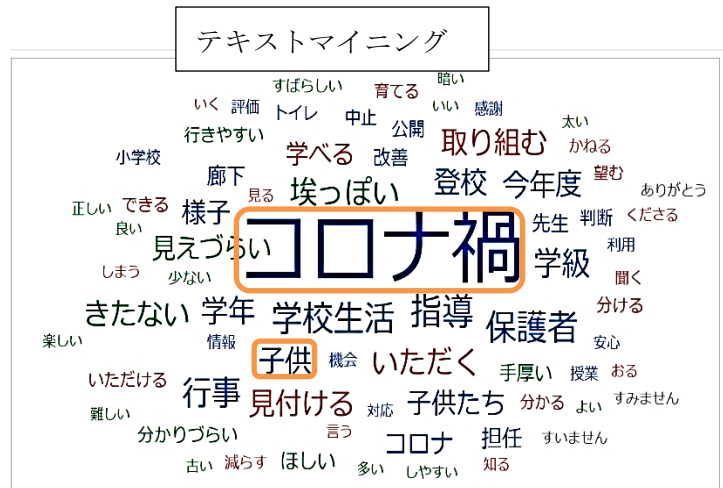
本校には、管理職や教務主幹の他に、研究推進部・生活指導部・特別活動部・体力向上部の4つの分掌があります。今年は特に行事に制限があるので表にできることは少ないのですが、山田一樹副校長・大矢教務主任・大草研究主任・山田繭子生活指導主任・長岡特活主任・後藤体力向上部主任が学校運営の中核となりました。各部には、浅利・島田・市川・南という副主任もいます。その他、学級や学年主任や若手の意欲溢れる教員等とも力を合わせて、マンパワーで新しい様々な試みを成功させ、難局を乗り越えました。

【保護者・スクールコミュニティ委員からの自由記述】

テキストマイニング分析をしました。テキストマイニングでは、単語や文節で区切った際の言葉の重要度をスコアと文字の大ききで表します。

出現頻度だけでなく、文中でどれだけ特徴的かで文字の大ききは決まります。例えば、コロナ禍の頻度は7回ですが、特徴的なのでスコアは73と最高になり文字も最大です。子供は23回もありましたがスコアは5と低めなので文字も小さめです。ここから、今年はコロナの影響が大きかったことが分かります。

保護者及びスクールコミュニティ委員の皆様の主なご意見をご紹介します、学校のご回答をお伝えします。



1. 『コロナ禍』

- コロナ禍で先生方も思考を凝らし対応ありがとうございます。
- コロナ禍、授業参観や学校行事が中止され親が直接子供の学校での様子を見る機会がありませんでした。
- 今年度コロナ禍で、学校生活が見えづらく0(分からないという回答)が多くなり申し訳ありません。
- 今年度はコロナ禍の中、様々な工夫をしていただき学校生活を送ることができました。

2. 『子供』

- 子供を叱る時に「おまえ」という先生が多々いると聞いています。
- 子供の欠点を減らす努力より、長所を伸ばした上で苦手なものを減らしていく方向でもよいのではないかと。
- 入学以来、学校公開が一度もなく、子供の様子が分からず心配しています。
- 授業参観や学校行事が中止され、親が直接子供の学校での様子を見る機会がありませんでした。
- 学級通信を発行していただくなど子供の口伝え以外に学校生活の様子が分かるようにしてほしい。

3. 『行事』

- 今年は行事の写真がほとんどないので、動画や写真の販売をしていただけると嬉しいです。
- 今年はコロナ感染予防のため全ての行事が中止となりました。
- 対策を取りながら行事を行っている市が多く、府中市も次年度はなるべく開催してほしい。
- 月末・月初めの行事は避けるなど工夫してほしい。
- 行事が中止となり残念でした。

4. 『保護者』

- 保護者会で学習発表会の映像を通し子供たちの成長を見せていただきありがとうございました。
- 保護者会での映像を配信いただけたらと思います。

5. 『登校』

- コロナ対応の登校時間について、兄弟と一緒に登校できるよう、学年でなく地区で時間を分ける工夫を。
- 低学年だけの登校は大変不安で可能なら偶数学年奇数学年のようにしていただきたいです。
- 分散登校に関して低学年と高学年に分ける理由が知りたいです。
- 対策を徹底してくださり、安心して登校させることができ、先生方には大変感謝しています。
- マチコミでは、当日登校する旨の連絡が登校時間後になるなど、情報発信が遅い。
- 他校では、マチコミの倍以上の情報発信しており、教育委員会より休校の延長、学校再開などの重要な情報が直接発信された。

6. 『育てる』

- 自主性を育てるのは良いことだが、まだ今の時期は先生にしっかり教えていただきたい。
- 学校も全力で努力できる力を育ててほしい。
- 問題解決する力を育ててほしい。

7. 『施設』

- トイレの設備がもう少し快適に使えるように改善してほしいです。
- 資材については見直してほしい(トイレ・水道など)
- トイレの改修工事を望みます。
- 学校のトイレが汚くて使いたくないと子供がいつているので改善してほしい。
- トイレが古い。
- 建物の構造として廊下が危ないと感じます。
- ロッカーや廊下の荷物散乱は物理的に収納に問題があると思います。
- 廊下や階段が埃っぽい。

8. 『その他』

- 学級だよりを毎週発行し、丸付けやチェック、児童や保護者へのアプローチが本当にすごい。
- 学校でお会いするとみんな感じよく挨拶して下さるので行きやすい。
- 「スーホの白い馬」すばらしかったです。
- 担任の先生が子供一人一人をよく見ようとしてくださっている様子が子供の話から伝わってきます。
- 学力が向上しているのも担任の先生のおかげです。
- 1年生の担任から始まり子供は担任の先生との出会いで人生において大きな転換期を迎えて勉強に対して意欲的に取り組めるようになりました。
- 児童の歩き方が気になる。通学の靴底の減り具合を見ると分かる。(スクールコミュニティ委員より)

1~5に関して、コロナ対策に追われ、学校の教育活動の成果を公開してほしいという保護者の皆様の願いに思いをはせる工夫が足りませんでした。今後は、保護者会で行事や活動の結果だけをお知らせするのではなく、学校ホームページやブログや学年・学級便りを通して途中経過もお伝えするように努めています。全ての皆様のご要望にお応えすることができずに申し訳ございません。

2に関して、言葉遣いについては、人権感覚の見直しも必要であると受け止めております。1月23日の道徳授業地区公開講座の高橋講師より「言葉の大切さを学ぶ」~思いやりのある子供を育てるために~という演題でお話をいただきました。学校ブログに一定期間あげる予定です。後日お配りするレジメをご覧になりながら視聴してくださいませようお願いいたします。「自分のことは自分の耳が一番聴いている。」ことを胸に、教員も子供も保護者も連携しながら言語環境を整えていきたいと考えています。

3・4に関して、次年度の年間行事を準備中です。春の運動会、秋のアートフェスティバル、冬の研究発表の日程はほぼ決まっています。今年度の反省を受け、5月と6月に3日間に分けて授業公開を予定しています。コロナの影響で予定がたちにくい日々ですが、3学期最後の保護者会でもう少し詳細のお話ができると思います。今年の学年運動記録会と学年学習発表会については日々の授業の一環として実施しました。次年度は日程も決めてお知らせできるようにいたします。

5に関して、今年度は密を避けるために『登校20』体制をとりました。次年度に向けて『登校15』に変更する予定です。学校への到着時刻を、低学年は、8:15~8:25、高学年と仲よし学級は8:20~8:30、2つの重なる5分間(8:20~8:25)を、兄弟姉妹が一緒に登校してもよい時間とします。3月より試験的に始める予定です。

6に関して、新年度より学び方は大きく変わります。GIGAスクール構想で1人1台タブレットが入り、ネット環境が改善される予定です。自ら問いを見付ける学びが主流になり、全力で努力する。問題解決する。これらの力をつける指導を重視していきます。

7に関して、トイレは大変臭く臭いもありました。一昨年、一部のトイレに臭い防止の工事を行いました。十分ではありません。定期的な清掃も含めて改善したいと思います。トイレは、コロナ感染予防の対策として、トイレの流しの一部が自動水栓となりました。廊下の歩行安全に関しては、廊下の曲がり角に安全ミラーを取り付けられないかと考えています。廊下や階段の清掃に関しては、今年度、コロナ対策をとったために、掃除の時間を十分にとることができなかったという理由があります。用務主事等が定期的に清掃を補うようにしています。ロッカーや廊下の荷物散乱については、そもそも荷物が多すぎ置き場所がないという問題もあります。場所の確保と収納の仕方の工夫を検討中です。

令和3年度の教育課程の骨子を紹介します。

学校教育全体を通して、「心響かせ学び合う南っ子」を育成します。

学校教育目標「たくましい子」「努力する子」の育成のための行動目標を【めあてを決めてがんばろう】

学校教育目標「思いやりのある子」の育成のための行動目標を【すすんであいさつしよう】とします。

GIGAスクール1年目、府中市研究協力校2年目の校内研究のテーマを「自ら考えを表現し、学び合おうとする児童の育成」とし、協働的な学びを通して思考力と表現力を育成します。そのための行動目標を【対話を大切にしよう】とします。ICTのCがコミュニケーションであることを重視し、ICTの活用を図ります。